

上海の経済発展に伴い、生まれた職業

上海の著しい経済発展とともに、そこで暮らす人々の生活リズムは、以前よりますます速くなっており、仕事以外の家事などに時間を割く余裕がなく、人を雇って、家事を手伝ってもらわざるを得ない階層が現れました。しかも、このような生活パターンの人々は増え続けています。

こういう状況の下で、「阿姨」（アニー）という職業が生まれました。「阿姨」とはメイドさんのことです。中国北部ではメイドを「保姆」（ボウ ムー）と呼びますが、上海ではメイドを「阿姨」（本来は「おばさん」の意味）と、ある種の親しみを込めた呼び方で呼んでいます。



阿姨として働く女性の一人

時給制と月給制に分かれる阿姨

2009年の時点で、上海の総人口は、流動人口を含め、約1,900万人に達しました。この流動人口の中には、「阿姨」として働く人がたくさん含まれています。「阿姨」には、四川省や

安徽省出身の女性が特に多く、年齢的には20歳くらいの若い人から50歳くらいのベテランまで様々です。

「阿姨」の仕事は、時給制と月給制の異なるタイプがあります。「上班族」と呼ばれるサラリーマン達の中で、日々の仕事だけで精一杯で、日ごろ家事をする余裕のない人たちにとっては、自分が自宅にいない間に、部屋の掃除や洗濯、夕食まで作ってくれる「阿姨」は、とても助かる存在です。また、ペットを飼っている家庭では、昼間、ペットの散歩や餌の面倒を見てもらえるため、安心して外出や仕事をすることができます。このような時給制で働いている「阿姨」の時給には、10～15元と幅がありますが、これは「阿姨」それぞれの能力によって異なります。就業時間は、1回あたり2時間からで、時給で働いている「阿姨」たちは、十分な収入を得るためには、2～3軒の家庭で働かなければなりません。1軒で週2～3回、1回あたり2～3時間働くと、月給換算で1,000元ぐらいを得ることができます。

一方、月給制で働くのは、住み込みの「阿姨」です。小さい子供がいて家事の手伝いが必要な人や、お年寄りがいて、その世話をしてもらいたい家庭では、24時間いつでも面倒を見てくれる「阿姨」の人气が高く、この月給制の「阿姨」は、住居と食事を保証され、基本月給は1,000元程度になります。もちろん、「阿姨」個人の能力によって、報酬は異なります。

上海には多くの外国人が住んでいます。特に、欧米人は「阿姨」を雇う家庭が多いようです。外国人家庭で働く「阿姨」たちは、掃除や洗濯に加え、料理も作れなければなりません。

料理が得意な「阿姨」は、その分月給も高く、3,000元に達することもあります。これは、上海の一般的なホワイトカラーの月給と同じ水準です。

上海の発展を支える阿姨たち

雇用主と「阿姨」がトラブルのない平和な関係を維持していることが何よりですが、双方の労務紛争などもよく耳にします。雇用主が期限通りに「阿姨」に給料を払わなかったり、また、「阿姨」がきちんと掃除をしなかったり、雇用主のものを盗んで逃げた、というケースも、新聞のニュースでよく見かけます。現在、上海では、「阿姨」として働く人たちのスキルアップのため、家政婦サービスに関する基本的なルールや知識を短期間かつ無料で学ぶことのできる訓練機関が区などによって作られています。このサービス分野をもっと成熟させ、家主と「阿姨」双方の利益を保護するため、社会の各部門から支持を得て、これから関連の法律なども作られていくでしょう。

現在、多くの上海人の生活にとって、「阿姨」は一刻たりとも手放せない存在となっています。自分の生活のために働いていると同時に、社会の労働問題を間接的に解決している彼女たちは、今後、その力で、この大都市の中でますます重要な役割を果たすようになるでしょう。

(2009年 9月)